



## ～ミッション～

金星に探査ロボットを送り込み、プローブ（観測装置）を投入せよ。  
さらに、金星の雲粒子を取得して地球に帰還せよ



### コースについて

- コースのサイズは縦横3.6mです。
- コースは左右対象につくられており、手前から松江エリア、宇宙エリア、金星エリアの3つのエリアに分けられています。
- 宇宙エリアには中間点があります。
- コースは図のように黒地に左右が白ラインで囲まれた道です。
- コースの外には危険な隕石が浮遊しています。  
※白ラインの幅は10 cm です。ラインの外15 cm に隕石はありません。
- 金星エリアには「雲粒子」が3つ置かれています。  
※雲粒子を松江エリアに持ち帰りましょう。  
※雲粒子は、直径4 cm のピンポンボールに面ファスナー（ループ）で加工したものです。
- ロボットが雲粒子を落としてしまった場合、競技中は動かせません。ただし、対戦相手が動かしてしまった場合など、戻す必要があると審判長が判断した場合は審判員が戻します。

### 採点内容

### 点数

松江エリアを出た（ロボット全体）	1
中間点を越えた（ロボット全体）	1
金星エリアに入った（片道ゴール）	1
金星エリアにプローブを投入した ※ 投入後にプローブがエリアから転がり出てもOK) ※ プローブはロボットに「載せた状態」で運ぶこと	1
松江エリアに戻った（ロボット全体）	2
雲粒子を松江エリアに持ち帰った ※ 最大3点まで	1
<b>[本選のみ]</b> 相手より先に「ゴール」と言った	1



雲粒子



## ○ロボットに関する競技ルール

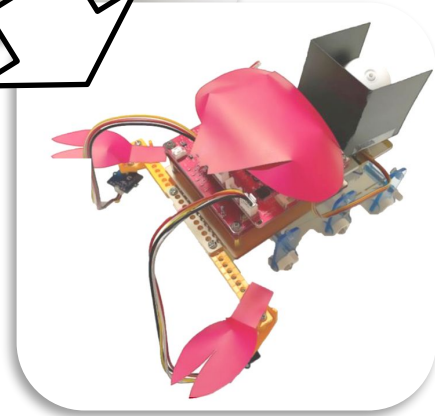
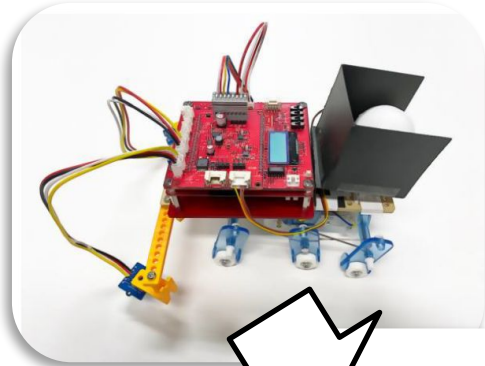
- 自分で作った多足歩行型ロボットまたは車輪型ロボットを使用できます。
- 多足歩行型ロボットは、ミッションで獲得した得点に+2点加点されます。
- 大きさはたて25 cm x 横25 cm x 高さ25 cm 以内です。
- スタート後に腕を伸ばすなどロボットのサイズが大きくなってもかまいません。
- 左右コースに合わせたプログラムの書き替え、ロボットの部品交換は自由です。  
※開会式後は試走用コースの用意はありません。
- プローブ (観測装置) は、ご自身で用意してください。  
※ころがりをおさえるようにしてください。  
※ボールを使う場合は中に粒を入れるのがお勧めです。
- 自律動作型ロボットで参加してください。遠隔または有線によるコントロールは禁止です。
- 液体、火気の使用は禁止です。
- 対戦相手をじゃまするような動きの場合は、審判長に止められる場合があります。

## ○出場できる部門に関するルール

- 小学生部門
  - 小学3年生から小学6年生まで
- オープン部門
  - 中学生以上(年齢は問いません)

## <ロボットの外観について>

- 「かに」にデコレーションして下さい。
- 外観は「デザイン賞」の審査対象となります。





## 試合の進め方

1. 試合時間は3分です。
2. プローブを乗せたロボットを松江エリアのコース上に置き、合図とともにスタートします。
3. 金星エリアに行ってプローブを投入し、松江エリアに戻ってきます。
4. 自分の金星エリアにある「雲粒子」を持って帰ると、ポイント (得点)がもらえます。
5. 競技途中で手をあげて「リトライ」と言うとポイントをリセットし、松江エリアから何度でも再スタートできます。  
※獲得した「雲粒子」は元の位置に戻されます。
6. 試合時間終了前に終わりたい時は「フィニッシュ」と言えば、それまでに獲得したポイントがもらえます。その後は「リトライ」できません。
7. ロボットが相手のコースに入ってしまったら、進路妨害として強制再スタートになります。  
※ポイントはリセットされます。  
※獲得した「雲粒子」は元の位置に戻されます。
8. ロボット同士がぶつかって動けなくなったら、審判長の言うとおりに、松江エリアに戻してスタートします。

## 当日の流れ

### 予選

- タイムトライアル形式で行います。
- 2試合行い、2試合の合計得点とゴールタイムを記録します。
- 得点の上位4チームが本選に出場します。
- 得点と同点のチームが複数ある場合は、ゴールタイムで順位を決定します。ゴールタイムでも決まらない場合はじゃんけんで決定します。

### 本選

- トーナメント形式で行います。
- 2試合行い、合計得点で競います。同点の場合はじゃんけんで勝敗を決定します。